

# ほんがいっぱい よんでみよう！



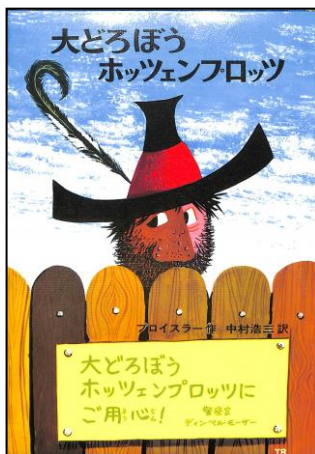
## 3・4年生のための本

### ①『大どろぼうホツェンプロッツ』

プロイスマー／作 トリップ／絵

なかむらこうぞう やく かいせいしや  
中村浩三／訳 偕成社《F7》

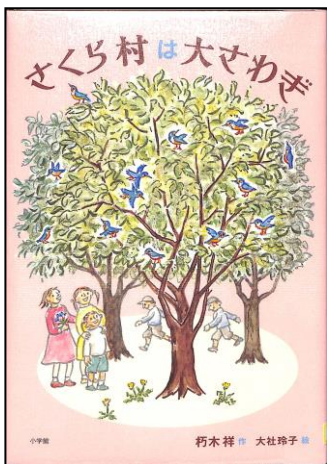
大どろぼうホツェンプロッツが、おばあさんのだいなコーヒーひきを盗んだ！カスパールは、なかよしのゼッペルといっしょに、ホツェンプロッツをつかまえようと決心した。さて、二人のかつやくは？



### ②『さくら村は大さわぎ』

くつきしょう さく おおこそれいこ え しょうがくかん  
朽木祥／作 大社玲子／絵 小学館《F7》

さくら村は、村じゅうにさくらがうえられています。さくらがさく春はとびきりすてきだけど、夏も秋も冬も、さくら村はおもしろいことのでいっぱい。さくら村に住むハナはある日、おにいちゃんが自転車をおかんと見つめているのに出くわしました。近づいてみると、自転車の前かごにあったのは…？

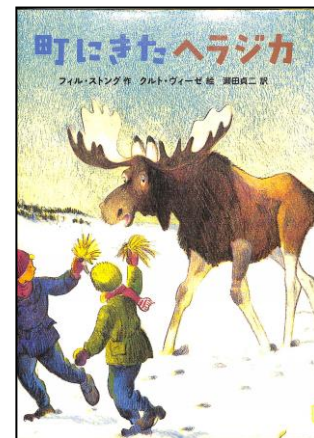


### ③『町にきたヘラジカ』

フィル・ストング／作 クルト・ヴィーゼ／絵

せたていじ やく とくましょてん  
瀬田貞二／訳 徳間書店《AF5》

イバルとワイノは、うまやで はらをすかせたヘラジカを見つけました。ウマが食べるための草を食べてしまうのですから、たまったものではありません！ふたりはヘラジカをうまやからおいだそうとしますが…。



### ④『ロサリンドの庭』

エルサ・ベスコフ／作 菱木晃子／訳

うえがきあゆこ え しょうぼう  
植垣歩子／絵 あすなろ書房《F6》

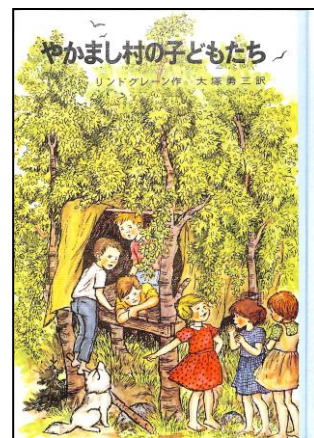
病気がちなラーシュ・エリックがベッドでねていると、部屋の壁紙から、ロサリンドというふしぎな女の子がでてきました。壁紙のなかの庭で、ロサリンドといっしょにあそぶうちに、ラーシュ・エリックはすっかり元気になりますが、やがて、ひっこすことになり…。



### ⑤『やかまし村の子どもたち』

リンドグレン／作 大塚勇三／訳 岩波書店《F7》

スウェーデンのやかまし村には3けんの家があつて、子どもが6人います。学校は遠いけど6人で遊びながら通います。夏休みには、ほし草おき場でねたり、あそび小屋を作ったりして、毎日が楽しくすぎていきます。

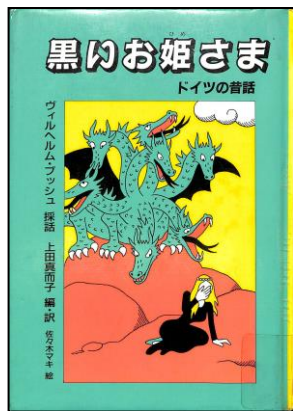


## ⑥『黒いお姫さま』

ヴィルヘルム・ブッシュ / 採話 上田真而子 / 編・訳

佐々木マキ / 絵 福音館書店《M》

のろわれたお姫さまの死体は、炭のようにまっ黒になった。そして、ま夜中になると柩からぬけだし番人をころしていく。はたして、お姫さまにかけられたのろいはとけるのだろうか？ほかにもゆかいな話、こわい話がたくさん！



## ⑦『ヴォドニークの水の館』

まきあつこ / 文 降矢なな / 絵 BL出版

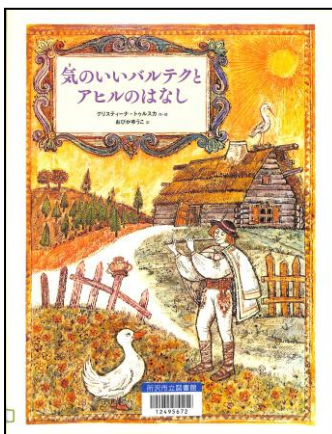
川に身をなげようとした むすめは、ヴォドニークという不気味な水辺の主に、水の中の館へつれていかれました。それからヴォドニークに仕えることになったむすめは、館のそうじを任せられますが「広間にあるつぼのふたは絶対にあけるな」と固くいつつけられ…。

## ⑧『気のいいバルテクとアヒルのはなし』

クリスティーナ・トゥルスカ / 作・絵

おびかゆうこ / 訳 徳間書店《Eト》

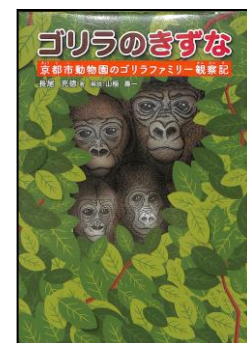
バルテクは山おくの村にすむやさしい若者で、1わのアヒルをとともかわいがっていました。ある日バルテクは、イバラのしげみからカエルの王をたすけだし、おれいにあらしの魔法をさずけてもらいます。その帰り道に出会った兵士たちの大將が「アヒルを丸やきにして食べる」というのを聞いて…。



## ⑨『ゴリラのきずな』

ながおみつり / 著 長尾充徳 / 著 くもん出版《48》

京都市動物園でゴリラの赤ちゃんが生まれました。赤ちゃんは、お母さんのゲンキにたいせつに育てられていましたが、生まれて五日目の朝、ようすがおかしくなってしまいます。



## ⑩『水族館』

ほりかわあやこ / さく 福音館書店《48》

水族館は、チケット売りや水槽のそうじ、いきものの飼育で大いそがし。大水槽のヒミツや音楽に合わせて泳ぐイワシショーの裏側など、水族館の一日をのぞいてみよう！

## ⑪『ナメクジはカタツムリだった？』

たけだしんいち / 写真・文 武田晋一 / 写真・文 岩崎書店《48》

カントウベッコウというカタツムリは、体のわりに殻が小さくて、やわらかい体をのぼすと殻がかくれます。なんだかナメクジみたい。カタツムリとナメクジ、なにか関係があるのでしょうか？



## ⑫『版画のはらうた』

くどうなおこと / のはらみんな / 詩

ほてはまたかし / 画 童話屋《91.1》

いい風がふいています。のはら道を歩いていますと、のはらの仲間たちに出会いました。かまきりりゅうじくんに、ありんこたくじくん。それに、にじひめこさんも…。そして、みんなとてもすてきな詩をうたっていました。

